

地域と歩んだ就実の軌跡

地域貢献報告書(第13号)

2020年度

就実大学
就実短期大学

地域と歩んだ就実の軌跡

地域貢献報告書(第13号)

2020年度

就実大学
就実短期大学

ごあいさつ

産学官地域連携センター長
大 崎 泰 正

大学の目的は大学の「外」にある

幕末期に10万両の借財を抱え、破綻寸前であった備中松山藩（現高梁市）の財政を、わずか8年で立て直した山田方谷（1805～1877）の藩政改革は、国や地方の財政問題が深刻化している近年、全国的にも注目されています。

方谷が藩政改革に奔走した嘉永～安政年間、ペリー来航による内政・外交の動揺、安政東南海・南海地震の発生、外国から上陸したコレラの大流行、インフレ高進など、今の日本にも似た災禍続発の時代でした。

このような内外情勢の中で、松山藩において方谷が成し遂げたのは単なる財政再建ではなく、その成果を「学問所」「教諭所」の設置、道路、水路など産業基盤の整備、早魃や凶作に備えた「貯倉」の設置といった数々の福祉政策に活用したことでした。というより、むしろ地域を活性化させ、領民を豊かにすることを通じて財政改革を実現したのでした。

いうまでもなく、これだけの大事業を方谷が一人でやった訳ではありません。領国内外から有能な人材を誘致し、身分に関わりなく要職に登用し、学問所や私塾において、彼らを改革実践の担い手として育て上げました。これが譜代の老臣達による抵抗を排して改革実行を断行する推進力になったことは多くの研究者が指摘するところです。

方谷は自著「理財論」の中で藩政の要点を「事の外に立ちて事の内に屈せず」という言葉で表しました。藩財政の多額の赤字や借金の問題は役所の中の話にすぎない。役所の外、つまり領民が力をつけ、豊かになる（士民撫育）ことこそが重要であり、それが成し遂げられれば財政は自ずとよくなるというのです。実際そのようになりました。

ところで経営学の泰斗、P・F・ドラッカー（1909～2005）も同じような言葉を残しています。いわく「企業の目的は、それぞれの企業の外にある」（『マネジメント』第1章）。企業は社会の機関なので、その目的は企業の利益ではなく、社会の厚生にあるとっているのです。それに合致した顧客をつくるのが企業の仕事だというわけです。

山田方谷とドラッカーの言葉が同工異曲であることはいうまでもありません。これを大学の役割に敷衍すれば、大学は地域社会の関係をさらに密なものにしていく必要性が示唆されていると思われまます。

2006年の教育基本法の改正以来、大学は、教育と研究という本来的な使命に加えて、「社会貢献」が「第三の使命」として位置づけられてきています。しかし、「大学の目的は大学の外にある」と考えるとき、地域の大学は社会「貢献」という言葉の範囲を超えた、より主体的な地域づくりへの参画が求められているといえます。

目下の最大課題である新型コロナウイルス感染拡大への対応をはじめ、地域の経済・社会が直面する課題はますます複雑化し、深刻化していますが、こうした地域課題の解決や新産業の創出を図っていくうえで、地元企業や地方自治体及び関係機関等と連携しながら大学が果たしていくべき役割はますます拡大していくものと考えられます。

本学においては産学官地域連携センターを中心に、去華就実・実地有用の建学の精神に基づき、地域と緊密に連携しながら、着実な活動を推進してまいります。今後とも、ご高配とご支援をよろしくお願い申し上げます。

目 次

ごあいさつ	1
学科・研究所・センター等主催事業	5
出前授業	13
学外組織との連携・協働	19
各種学外委員会の応嘱	31
講師の派遣	43

学科・研究所・センター等主催事業

主 催	人文科学部表現文化学科		
行 事 名	令和2年度表現文化学会 公開学術講演 『仕事と勉強と私——学術の前と後ろ』		
講 師	吉川浩満（文筆家・編集者）		
日 付	2020年11月7日	場 所	本学R601教室
対 象 者	表現文化学科学生	参加人数	学生250名
概 要（本文・写真・図等） ※本年度は一般にも公開予定であったが新型コロナウイルス感染予防のため公開せず実施			
<p>令和2年11月7日土曜日、本学R601にて、2020年度表現文化学会学術講演会が開催された。今回は文筆家・編集者の吉川浩満氏による講演であった。コロナ禍の影響を受けたオンライン講演ということで、講演を円滑に実施できるかが懸念されたが、大きなトラブルにも見舞われず、概ね予定通りに実施することができた。会場には今年度本学科入学生75名を招き、感染防止対策を十全に施したうえで講演を聴いてもらった。2年生～4年生には講演をオンライン配信し、ウェブクラス上で視聴してもらった。吉川氏には東京のご自宅のアトリエからお話しをしていただいたが、通信障害などもなく、良好な環境で講演は行われた。</p> <p>講演では、まず吉川氏のご自身のご出身である鳥取と岡山の関係に触れ、高校までの学生時代には岡山によく行き、都会を満喫していた旨を述べられて、会場を和ませていた。そのうえで、講演の本題である仕事と学問について語っていった。抽象的な話をせず、ご自身の経験をもとに具体的に、身近な、身の丈の話題を出しながら話を進めていった。そのため、会場にいた一年生にとってもたいへんわかりやすく、実感を伴って聴衆の心に入り込む講演内容であった。吉川氏は、ご自身にとってとても大切な理想でありながら、なかなか自分にはできそうにないと考えていたという、偉人の三つの言葉を紹介して下さった。一つは明治期に札幌農学校に赴任したクラーク博士の「少年よ大志を抱け」、もう一つは物理学者アインシュタインの「私は天才ではありません。ただ、人より長く一つの事柄とつきあっていただけです」、そして現役将棋棋士羽生善治九段の「才能とは続けられること」である。いずれの言葉も、人生を生きていくうえで指針となる理想を示しており、吉川氏自身これらの言葉に触発されつつ、しかし一方で、自分はずねに一つのことを続けられるわけではなく、大志を抱いたこともなかったと、やや自嘲気味に、しかし実直に自らのことを語って下さった。本講演が聴衆の心をつかんだのも、こうした氏の率直な語り口によるところ大であった。これらの言葉を紹介してから、氏はご自身の職歴にかんたんに触れ、出版社で働くも自信をなくして辞表を提出され、その後、草創期のインターネットブラウザ「Yahoo!」に勤めたもののがんばりすぎて消耗してしまい、やはり退職して、その後は文筆業と編集業、そして大学の非常勤講師とお好きな卓球のコーチをしながら生活しているという現在までの経緯を、飾らず赤裸々に語って下さった。</p> <p>以上をふまえて、仕事は自分の関心に沿ったものであると同時に、生活するための糧を得る労働という面もあれば、他者との関わりの中で社会や政治を改良していく活動という面もある。だから今、大学という場で学んでおられる聴衆のみなさんは、自分が見つけた仕事を通して、社会の中で様々な活躍していただきたい。そのためには、大学で学ぶという習慣をしっかり身につけてほしい。この習慣（問題を立てる・調べる・考えをまとめる・言葉で伝える）は一生役に立ち、仕事・労働・活動という三つのどの面に対しても有意義な習慣なのだからとして、最後に、つらいときには中島みゆきの「ファイト」を聴くことをお勧めしますと述べて、講演を締めくくった。</p>			

主 催	就実教育実践研究センター (就実子育てアカデミー実行委員会)		
行 事 名	親子ふれあいタイム		
講 師	大学・短大教員 学生ボランティア等		
日 付	2020年6月20日開始	場 所	就実こども園
対 象 者	0歳～5歳児の親子	参加人数	毎回約5名程度
概 要			
<p>1 実施日および内容</p> <p>令和2年 6月20日 「絵本はおれにまかせろ！」</p> <p>令和2年 8月 1日 「ゆる～くフラダンス：おとなのリラックス編」</p> <p>令和2年 9月28日 「あかちゃん体操講座」</p> <p>令和2年10月31日 「親子で楽しく感染予防」</p> <p>2 成果等：</p> <p>本事業は就実教育実践研究センターが地域のNPO、学校、保育所、町内会、企業、行政と協働して運営している「就実子育てアカデミー」の事業である。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症流行により事業の継続が困難な状況にあったが、6月よりオンラインでの講座を実施した。</p> <p>「親子で楽しく感染予防」では、学生も講師補助を務め、また「絵本はおれにまかせろ！」では学生が教材作成を行うなど、オンラインでの限定された活動の中でも、子どもとその保護者にかかわる機会を得ることができた。</p> <p>当初はオンラインという形式に対する反応に懸念もあったが、「移動の負担や三密の心配もなく、便利」「他のイベントが中止になる中、貴重な機会となった」「他の参加者さんとも交流ができて楽しかった。」等の感想があった。</p> <p>なお、本事業は令和2年度岡山県備前県民局令和2年度おかやま子育てカレッジ地域貢献事業費補助金採択事業である。</p>			

主 催	教育学部教育心理学科		
行 事 名	新入生歓迎会		
講 師	教育心理学科有志 (SEP)、教育心理学科 林 秀樹		
日 付	2020年9月28日	場 所	P館
対 象 者	教育心理学科1年生	参加人数	80名

概 要

例年5月にSEP*が企画している新入生歓迎会を、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため延期し、9月に開催した。間隔をあけて座るなどの感染対策を講じながらの開催だったが、参加者は楽しみながら親睦を深めていた。

企画者のコメント (抜粋)

新入生歓迎会を9月28日に行いました。今回の新入生歓迎会では、クラス対抗クイズ大会を行いました。就実大学に関する問題のほか、より仲を深めてもらうために、クラス全員で一緒に考えて解答するような問題も用意しました。開催する前まではきちんと進行できるのか、盛り上げることができるのかなど、多くの不安がありました。しかし始めてみると、1年生の皆さんも積極的に参加してくれて、私たちにとっても楽しい時間を過ごすことができました。ハプニングもいくつかありましたが、SEPのメンバーで協力して乗り越え、貴重な体験をさせていただくことができました。今回の歓迎会を通して、1年生の皆さんの仲が少しでも深まればいいなと思いました。(SEP 2年 大林 青空)

※「SEP」(セップ)とは、「就実教育心理」(Shujitsu Educational Psychology)の略で、学科行事を企画・運営する有志の学生のグループです。新入生歓迎会、球技大会、4年生を送る茶話会などのイベントを通して、学生同士の交流を深めています。

以下は、当日の様子を撮影した写真。



主催	教育心理学科キャリア支援開発委員・教育心理学会		
行事名	キャリア・就心会合同講演会 「卒業生に聞く、心理職に就くこと働くこと」		
講師	尾崎杏奈・新免愛香・中田悠介		
日付	2020年11月7日	場所	E402・オンライン
対象者	教育心理学科学生・大学院生	参加人数	110名（オンライン参加者含む）

概要

令和2年度の学科行事「キャリア・就心会講演会」は、公認心理師や臨床心理士として活躍する3名の卒業生を招待し、心理職として働くことをテーマに開催し、新型コロナウイルス感染症対策として1年生は対面で、2年生以上はオンラインで実施した。

心理師とは異なる他職種との視点での関わり方、掛け持ちキャリアとしての働き方、学生時代のボランティアやアルバイトと今の働き方との接点についてなど各講師の視点で心理職の働き方についてわかりやすくご講話頂いた。

↓会場風景（開会の挨拶）



↓Google meet 配信風景（御礼の挨拶）



主 催	短期大学幼児教育学科		
行 事 名	潜在保育士復職支援研修及び卒後リカレント教育		
講 師	幼児教育学科全職員		
日 付	2020年9月	場 所	資料郵送
対 象 者	地域の人たち	参加人数	9名
概 要	<p>2020年度 潜在保育士復職支援及び卒後リカレント教育研修会一覧 [教育相談] 荊木、[幼児体育] 松本、[乳児保育] 澤津、[器楽] 山下、 [保育内容総論] 池田、[情報交換会] [澤津 就実子ども園での体験実習]</p> <p>上記の5講座1実習で例年通り計画を進めていたが、新型コロナの感染拡大に伴い、9月に10名限定として、さらに、オンライン研修も検討したが、受講生のオンライン環境に関わる個人差等を考慮して、本年度は、各講座の講師が作成した資料を郵送し、「紙面研修」とすることとした。</p> <p>なお、情報交換会、子ども園での実習の2講座については、コロナ感染症対策の観点からも中止とした。</p> <p>受講生のアンケート結果からの考察</p> <p>受講者の年齢層は、図1のとおり50代が55.6%と過半数を超えていた。受講者の就労経験は、図2のとおり「保育者としての就労経験がない」が44.4%、「保育者の経験が過去にはあるが現在は就労していない」が33.3%、「現在保育者として勤務されている」が11.1%であった。つまり、「保育者としての就労経験がない」もしくは「過去には経験があるが現在は就労していない」方、年齢としては50代の方の参加率が多かったと言える。</p> <p>「現在保育者として勤務している」いわゆるリカレント教育を要望している割合は今年度は11.1%と少なかった。これは保育現場がコロナ感染症対策に追われる時期であったことも影響していることが考えられる。</p> <p>受講のきっかけは、図3のとおり本学のHPが30.0%、自治体窓口が20.0%で過半数であった。以上のことから、引き続き大学のHPの充実や自治体との連携が必要であると捉えられる。</p> <p>受講者の満足度としては、図4及び実際の受講者の感想・意見をふまえると、研修内容に関しては一定のニーズに応えたことがうかがえるが、対面での研修を望む声が多く、そのことが満足度に影響したと考えられる。</p> <p>今後必要なサポートとしては、図5のとおり「研修」が33.3%、「業界情報」が22.2%、「具体的指導」が22.2%であった。保育に関する学び直しや即戦力となる具体的指導に関する研修及び保育現場における現状の把握に関するニーズが高いことがうかがえる。</p> <p>以上のように、7年が経過した本プロジェクトは、対面での研修を望む受講生にとっては、やや満足度の低いものとなり、来年度以降の意欲的な参加や本プロジェクトの展開に不安を残した一面もある。しかし、逆に時代は大きな転換期にあり、これまでになく視点や方法をもって発想の転換が求められていることから、こうした研修会等も新しい形態での開催やこれまでに考えもつかなかった研修内容へと進化するチャンスでもあるととらえることができる。</p>		

出前授業

主 催	人文科学部表現文化学科		
行 事 名	身体で伝える 身体が語る		
講 師	岡本悦子		
日 付	2020年10月13日 14:45~15:35	場 所	Meetを使ったオンライン ライブ配信
対 象 者	就実高校2年生	参加人数	71名
<p>(概 要) 「身体で伝える 身体が語る」に類する内容の出前授業は、この度5回目になる。これまではいずれも対面での実技講習として実施してきたが、コロナ禍の今年度は、感染症予防対策をとる必要から、初めてのリモートによる実施となった。「実技講習をリモートライブで行う」ことに加え、「71名の生徒が複数の教室に分かれて同時に受講する」こと、更に「机や椅子のある教室で制服のまま出来る実技内容を」という条件から、内容はかなり制限せざるを得なかったが、新しい挑戦と捉えた。</p> <p>授業内容は、演劇インプロワークの中から対人ワーク数種とコミュニケーションダンスとした。他者へのアクションという信号の「よき」送り手と「よき」受け手となるために重要なことは何かについて体験を通して学び、また自分ではなかなか気づくことのできない自身の側面について他者のリアクションを通して気づいていくことを促す内容であった。</p> <p>リモートによる大きな集団への実技指導という条件に戸惑いは大きかったものの、最終的には生徒同士が和気藹々と交流する姿を画面越しに確認することができて安堵した。</p>			

主 催	人文科学部表現文化学科		
行 事 名	外国人学習者の誤用例からみる日本語の世界		
講 師	中崎 崇		
日 付	2020年12月21日	場 所	岡山理科大学附属高校
対 象 者	高校3年生	参加人数	3名
<p>(概 要) 岡山理科大学附属高校において、「外国人学習者の誤用例からみる日本語の世界」という題目で出前授業を行った。45分の授業（途中10分休憩）を2コマ実施した。授業では、外国人日本語学習者（日本語非母語話者）の誤用例を用いて、1) 誤用が起こるメカニズム、2) 誤用を分析する意義、3) 誤用分析の方法と実践例、についての解説を行った。特に、誤用分析が、日本語教授法や教材開発といった教育面への貢献があるだけでなく、目標言語そのものの特徴を知るといった日本語学への貢献にも大いにつながることを説明した。</p> <p>教育学科の生徒3名（高校3年生）が参加したが、教員志望の生徒3名であったためか、熱心に授業を聞き、授業中もこちらの発問に対してわからないなりに答えてくれていたように思う。授業後の感想として「初めてきちんと日本語について考えることができてよかった」「言語についてもっとよく知りたいと思った」「英語も日本語もそれぞれ難しい部分、また特徴を持っていることがわかった」などがよせられた。感想からも、こちらが意図したことを生徒にある程度は伝えられたのではないかとと思われる。</p>			

主 催	人文科学部実践英語学科		
行 事 名	ポピュラーソング“Tom's Diner”を通じて英語を学ぼう		
講 師	J. スコット		
日 付	2020年11月16日	場 所	岡山理科大学附属高等学校
対 象 者	高等学校3年生	参加人数	3名
<p>(概 要) 音楽を聞いて、歌詞を聞き取りし、その歌の内容についての理解を深めた。学生の勝敗を競う活動で、英語のリスニングから理解までがゲーム感覚で学べた。“Animals and Pets”のコミュニケーションゲームで学生が生活や意見について話しながら、英会話の機会も提供した。</p>			

主 催	教育学部教育心理学科		
行 事 名	自重互敬のストレスマネジメント		
講 師	石原みちる		
日 付	2020年10月21日	場 所	岡山県立岡山朝日高校
対 象 者	高校2年生	参加人数	70名
<p>(概 要) 岡山朝日高校内で毎年行われている「健康を考える日」の講演会において、ストレスの仕組み、考え方の癖、対処法について、ワークを交えて講話を行った。特にコロナ禍でのストレス対処を取り上げ、個人の強みを活かすと同時に相手を大切にすることを伝えた。</p>			

主 催	教育学部教育心理学科		
行 事 名	コロナ禍でもストレスとうまく付き合おう		
講 師	石原みちる		
日 付	2020年10月26日	場 所	岡山県立岡山一宮高校
対 象 者	高校2年生	参加人数	60名
<p>(概 要) 高校内で毎年行われているロングホームルームにおいて、ストレスの仕組み、認知的評価の個人差、対処のリソースについて、ワークを交えて講話を行った。特にコロナ禍でのストレス対処のリソースを確認し、生徒のエンパワーメントを心掛けた。</p>			

主 催	教育学部教育心理学科		
行 事 名	ものの見方を見る見方		
講 師	井芹聖文		
日 付	2020年6月29日	場 所	トライ式高等学院 岡山キャンパス
対 象 者	生徒	参加人数	25名
<p>(概 要) カウンセリングや日常生活でのコミュニケーションを題材にしながら、集団の「ものの見方」の傾向を探る心理学的アプローチと、個人の「ものの見方」を尊重する心理学的アプローチの特徴をそれぞれ解説し、特に後者の観点を対人援助や自己理解に活かすための演習を行った。</p>			

主 催	経営学部経営学科		
行 事 名	地域の魅力を伝えるマーケティング		
講 師	加賀美太記		
日 付	2020年11月10日	場 所	就実高校 (オンライン)
対 象 者	1年生	参加人数	71名
<p>(概 要) 地域とマーケティングというテーマのもと、ゆるキャラやB-1グランプリといった具体例を紹介するとともに、なぜ地域に注目が集まるのか、そこで求められる取り組みについて経営学や社会学の視角から解説をおこなった。</p>			

主 催	薬学部薬学科		
行 事 名	やさしい遺伝子診断と遺伝子治療の話		
講 師	中西 徹		
日 付	2021年1月18日	場 所	岡山理科大学附属高校
対 象 者	教育学科3年生	参加人数	3名
<p>(概 要) 遺伝子の基礎から最新の遺伝子治療や遺伝子診断、さらにはがんの治療や再生医療の話まで、遺伝子医療の現状をわかりやすく解説した。さらに小型の顕微鏡を持参して実際に細胞を見たり、細胞からDNAを採取する作業の実習も行った。生徒さんにも担当の先生にも熱心に話を聴いていただいた。</p>			

主 催	薬学部薬学科		
行 事 名	薬剤師ってどんな仕事？		
講 師	田坂祐一		
日 付	2020年10月3日	場 所	兵庫県立姫路東高等学校
対 象 者	高校1年生	参加人数	38名
<p>(概 要) 兵庫県立姫路東高等学校の職業ガイダンスセミナーにおいて、文理選択前の高校1年生を対象とし、薬剤師業務の実際と最近の話題、薬学部での学びについて概説した。アンケートでは受講者全員が好意的な回答をしており、進路選択における有益な情報を提供できたと思われる。</p>			

主 催	短期大学幼児教育学科		
行 事 名	『先生』と呼ばれる人をめざすということ ～これからの時代に求められる教師・保育士～		
講 師	小谷彰吾		
日 付	2020年9月23日	場 所	勝山高校
対 象 者	高校1・2年生	参加人数	40名
<p>(概 要) 昨年度参加してくれた生徒諸君がほとんどもう一度聞きたいとのことで参加してくれた。前年度よりもさらに一歩進んだ「生き方」「考え方」のヒントとして「仕事」「働く」を考える講座となるよう授業を展開した。</p>			

主 催	短期大学幼児教育学科		
行 事 名	アート入門：2000年後を紙にうつそう！		
講 師	柴川敏之		
日 付	2020年10月19日	場 所	本学T408教室（美術教室）
対 象 者	高校3年生	参加人数	3名
<p>(概 要) 岡山理科大学附属高校3年生を対象に、現代を生きる私たちの日常を2000年後の未来から俯瞰するワークショップ。「身近なモノ＝現代の象徴」ととらえ、ローラー拓本の技法を使って簡単にできる未来の化石作りを行った。</p>			

学外組織との連携・協働

主 催	岡山県女子体育連盟		
タ イ ト ル	第一回ダンス実践者情報交換会		
実 施 者	岡本悦子（岡山県女子体育連盟会長）		
日 付	2020年8月29日	場 所	ノートルダム清心女子大学
対 象 者	学校体育・社会体育における ダンス指導者	参加人数	12名
概 要（本文・写真・図等）			
<p>コロナ禍により、岡山で初となるはずだった全国ダンスムーブメントセミナー in 岡山（公社日本女子体育連盟とともに主催）の開催を一年延期とすることになった。この企画はその代替企画第1弾として開催した会員の情報交換会である。連盟としては初めてズームと対面を併用した情報交換会となった。内容は主に、対面が基礎的条件であるダンス指導にあたって、リモートで何ができるか、何を重視すべきか、どのような課題があるのか、などであった。参加者からは、それぞれ異なる事情のなかでの様々な工夫が報告され、大変参考になった。また、画面を通してではあったものの、所属の異なる会員たちが率直に語り合う機会を創出したことにより、会員相互の距離が明らかに縮まったことは喜ばしい。参加者は、岡山大学、川崎医療福祉大学、ノートルダム清心女子大学、環太平洋大学、就実大学など県内大学や県内の公立中学校高校の教員、岡山県内の社会体育指導者であった。</p>			

主 催	岡山県女子体育連盟		
タ イ ト ル	令和2年度岡山県みんなの文化活動応援事業 岡山県女子体育連盟特別企画「体にアクセス！心豊かに！」		
実 施 者	岡本悦子（岡山県女子体育連盟会長）		
日 付	2020年10月31日	場 所	岡山県生涯学習センター
対 象 者	ダンス指導者	参加人数	50名（Zoom参加含）

概 要（本文・写真・図等）

コロナ禍により、岡山県で初の開催となるはずだった「ダンスムーブメントセミナー in 岡山」（公益社団法人日本女子体育連盟とともに主催する全国規模のダンス指導者講習会）を一年延期とすることになった。この企画はその代替企画第2弾として開催した講演会である。感染症予防対策をとり、リモートと対面を併用した講演会であった。講師には長年舞台やダンス教育等に関わられる県内の有識者三人（岡山県ジャズダンス協会会長星野和子先生・80歳、元小学校校長河内裕子先生・80歳、OSKスポーツ会館コーチ大原良春先生・37歳）をお迎えし、異なるお立場から「体ごと人と向き合うために必要な指導者の姿勢」を中心に貴重なご意見を賜ることが出来た。

「いつも子どもが私の先生でした！」（河内先生）、「舞台では80歳の私にも恋ができるのよ！」（星野先生）、「『足るを知る』がモットー！現場の小さな変化を見逃さずに！」（大原先生）等といったお言葉からは、現場に誠実に向き合い、柔軟に学ばれる謙虚なご姿勢や、変身できるダンスの醍醐味について改めて学ばせて頂くことが出来た。聴衆はZoom併用で県外からも参加があり、次世代の指導に携わる県内外の人々に勇気と希望を与えて頂いた。会終了後には講師の先生から「こういう機会があったからこそ、夢中で駆け抜けてきた人生を振り返ることができた。本当に有難う。」と感謝の意を頂いた。

自粛生活にあって、「心身の健康」「他者との交流」をキーワードに「人間性の回復」や「身体」への関心が一層高まっている。これを契機にあらためて身体性の拓く世界の可能性に着目し、知恵を絞りながら教育につなげていきたい。



主催	主催：岡山県現代舞踊連盟・岡山県・公社岡山県文化連盟 おかやま県民文化祭実行委員会 共催：岡山市・岡山市芸術祭・公益財団法人岡山文化芸術創造 助成：福武教育文化振興財団 後援：岡山県教育委員会・岡山市教育委員会		
タイトル	創る・踊る・観る 現代舞踊まなびの発表会		
実施者	岡本悦子（岡山県現代舞踊連盟顧問）		
日付	2020年11月22日	場所	百花プラザ多目的ホール
対象者	ダンス実践者	参加人数	50名
概要（本文・写真・図等）			
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、本連盟が企画していたワークショップの開催を中止せざるを得ず、日程や講師、内容について大幅な変更を余儀なくされた。調整した本企画は、作品発表と作品鑑賞の2部構成であった。前半（13:00-17:00）の作品発表では照明付きで12作品の舞台発表を行い、その都度県内在住の舞踊家・ダンサー・ダンス教育者といった現代舞踊の専門家であるアドバイザーから直接出品者に10分程度の指導を頂いた。その指導やアドバイスの様子も公開とし、出演者は互いの作品も鑑賞した。後半（17:15-18:00）の作品鑑賞では、モダンダンス・コンテンポラリーダンスの全国コンテストで数々の受賞を得ている田中朝子氏のダンス作品をビデオ鑑賞し（東京在住のため映像鑑賞となった）、その後対話的鑑賞法の第一人者によるファシリテートの元、会場の参加者は自由に感想を発表した。それぞれの視点や感想の言葉に刺激を受け、意見の違いを感じながら作品の鑑賞を深めることができた。実施後には出演者・アドバイザーにはアンケートを実施した。</p> <p>周到な感染症対策を実施し、感染者を出すこともなく会を無事に終えることができた。また後半の対話的鑑賞法によるダンス鑑賞における言語化は、観る側も踊る側も学びが深く、引き続き実施したいという声が多く聞かれた。一方、今後の課題としては以下の点が挙げられた。出演者・観客が予定より少なかったことは感染症拡大の影響もあり、いたしかたないことではあるが、今後はさらに参加者を増やす工夫が必要である。また、今回はビデオ鑑賞であったが、国内外のより多くのプロダンサーを招き、上演を通してその作品に直接触れる機会を作りたいと考えている。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

主 催	岡山県女子体育連盟		
タ イ ト ル	「郷土のダンス、楽しく踊って免疫アップ～とこはい下津井節」		
実 施 者	岡本悦子（岡山県女子体育連盟会長）		
日 付	2021年2月21日	場 所	岡山県立総社南高等学校
対 象 者	県内ダンス指導者（学校体育教員&社会体育指導者）	参加人数	12名（Zoom参加含）
概 要（本文・写真・図等）			
<p>この企画は、来年度に開催延期となった全国研修「ダンスムーブメントセミナー in 岡山」（公益社団法人日本女子体育連盟との共催）の準備企画である。全国研修のプログラムには一部に岡山県会員が講師を務める実技講習を予定している。その一つに郷土で20年踊り継がれている「とこはい下津井節」の指導がある。今回の研修はより多くの県内会員がこの指導をアシストできるようになることを目的に開催した。</p> <p>感染症予防対策として、参加者は2週間前から体温の計測、マスク着用やディスタンスへの配慮、場所備品の消毒、研修時間の短縮化などに留意して開催した。体調不良や家族の体調不良などから対面参加を控えざるを得ない者もあり、参加者が予定より少なかったことは残念であったものの、厳しい状況にあっても対策をとって慎重に開催できる手応えを得たという意味では、建設的な会となったことは喜ばしい。</p> <p>来年度のダンスムーブメントセミナーでは、この講習以外に学校体育に活かせる即興的なダンス指導の講習や外部講師によるインクルーシブダンスの講習を予定している。全国研修を岡山で開催することを契機に、県内のダンス教育がより発展していけるよう引き続き尽力していきたい。</p>			

主 催	人文科学部実践英語学科		
タ イ ト ル	林原美術館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組み		
実 施 者	浅利尚民（表現文化学科）・武部好子（実践英語学科）		
日 付	2020年12月7日	場 所	R301
対 象 者	林原美術館	参加人数	20名

概 要（本文・写真・図等）

本学人文科学部と一般財団法人林原美術館（谷一尚館長）との連携協定に基づいて、昨年度に引き続き『林原美術館名品選』解説文の英語への翻訳作業および解説会を行いました。

現在『林原美術館名品選』掲載の解説文について、人文科学部実践英語学科武部好子准教授の指導のもと後期授業「翻訳演習2」の課題として、実践英語学科17名の受講生が切磋琢磨しながら、日本語から英語への翻訳を進めています。

この林原美術館との連携協定に基づく英語翻訳の取り組みの一環として、2020年12月7日（月）、「翻訳演習2」のクラスに林原美術館の橋本龍主任学芸員をお招きし『林原美術館名品選』解説文の英語への翻訳作業に取り組む受講生に対して、作品の歴史的・文化的背景や文言の解説を具体的な映像を通して詳細に行って頂き、受講生からの素朴な質問にも丁寧にご回答頂きました。日頃から翻訳に関心のある受講生たちにとって、自分達が大学で行う翻訳が実社会で展示される可能性がある点は、貴重な経験として知的好奇心を高めています。

ご協力くださった林原美術館の橋本龍主任学芸員、表現文化学科の浅利尚民准教授と実践英語学科の受講生の皆様に感謝致します。



主 催	岡山市立御津公民館		
タ イ ト ル	「多文化カフェ」の参加と地域に住む外国人へのインタビュー調査		
実 施 者	岡山市立御津公民館・就実大学社会教育主事課程（担当：中塚朋子）		
日 付	2020年11月22日	場 所	岡山市立御津公民館
対 象 者	外国人住民、日本語教師 地域住民、本学学生	参加人数	40名～50名程度

概 要（本文・写真・図等）

2020年11月22日に、社会教育主事課程の科目（生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ）の授業の一環として、昨年につづき岡山市立御津公民館で開催されている「多文化カフェ」に参加しました。あわせて、多文化カフェに参加する御津地域に住む外国人の若者たちにインタビュー調査を実施しました。

多文化カフェは、御津公民館で毎週日曜に行われる日本語教室に通う外国人の住民が、その他の地域住民と軽食をともにしながら交流を行う月に1度の取り組みです。今年も、御津公民館と連携し、多文化カフェの参加と、地域の外国人の若者たちにインタビュー調査を実施しました。

多文化カフェについては、とくに食事や会話などを含むため、新型コロナの感染拡大防止に留意し、複数の対策を講じつつ実施しました。公民館の広い中庭で5m以上テーブルの位置を離し、5つのグループに分散し、手洗いや消毒の後、マスクを着用したうえでホットプレートを使い焼きそばをつくりました。その後、一緒に作った焼きそばをいただきながら歓談しました。

学生たちは、外国人の方々と一緒に調理をし、食事をしながら会話をする中で、緊張もほぐれ、和やかな雰囲気の中で交流を深めていました。その後、グループごとに部屋や中庭の一角に集まり、外国人の方々へインタビュー調査を行いました。日本での生活や御津地域における人々のかかわり、日本語教室や公民館での活動、将来の夢など、学生たちは雑談を交えつつ準備した質問をわかりやすい言葉に変えながら、工夫して聞き取りを行っていました。インタビューのあとは公民館の一室を借り、30分程度、ふりかえりの座談会を実施しました。

後日、学生たちは録音した音声データを分担して文字起こし、トランスクリプトを作成し、インタビュー・データを共有しました。その後、学生たちはインタビュー・データの整理や検討を行い、それぞれの問いや視点によって考察を行いました。日本で生活する同世代の外国出身の若者たちとの交流や聞き取りを通して、社会教育の意義や、多文化共生と地域づくりについて熟考する機会となったようです。



主 催	岡山市立御津公民館		
タ イ ト ル	「第9回 御津防災キャンプ 作って♪遊んで♪学ぼうさい」の参加		
実 施 者	岡山市立御津公民館・就実大学社会教育主事課程（担当：中塚朋子）		
日 付	2020年11月28日	場 所	岡山市立御津公民館
対 象 者	地域住民（対象：小学3年以下の児童と保護者）	参加人数	講座対象者：71名、その他の参加者：多数（本学学生含む）

概 要（本文・写真・図等）

2020年11月28日（土）の午前に、社会教育主事課程の科目（社会教育演習Ⅰ・Ⅱ）の授業の一環として、岡山市立御津公民館で開催されている「御津防災キャンプ」に大学生ブースを設け参加しました。御津防災キャンプは、今年度で9回目の開催となりました。今回はその方法を一新し、幼児や小学校3年生以下の児童とその保護者を対象とした、楽しみながら防災について学ぶイベントとして実施されました。

本年度は、新型コロナ感染拡大による影響により、前期すべての授業がZoomを利用したオンライン授業となりました。後期は、感染予防を行いながら12月までは対面形式、1月はオンライン形式で授業を行いました。前期の授業では、大学生ブースの企画の検討を重ね、さいごに発表を行い、出席者の投票により上位3つの案を選びました。御津公民館職員（館長の立花氏、社会教育主事の小槇氏、地域担当の二宮氏）や消防署職員であり「まちの防災屋さん（クアトロ・シクロ）」の大川氏が、数回にわたりリモートで授業に参加・助言をくださりました。また、防災教育と社会教育に関する関連文献（野元弘幸編著、2018、『社会教育における防災教育の展開』大学教育出版）を輪読し、国内外のさまざまな災害の事例を通して、社会教育的活動に関する理論や実践について学習しました。後期は、大学生ブースの企画を班ごとに具体化し、新型コロナの感染予防対策も考慮した企画の実施の準備をすすめました。25名の受講生は、①「箱の中身はなあに？」、②「これ使える！オリジナルてぬぐいづくり」、③「わなげで救出!？」、④「ブース・コーディネーターチーム（取材係含む）」の4つにわかれ、企画の準備や実施に取り組みました。

当日は、中・高・大学生のほか、各関連機関や団体がブースを設置し、スタンプラリー形式で参加者がブースをめぐり、体験の数に応じて関連グッズをもらえるという方式で実施されました。幼児・児童とその保護者が各ブースをまわり、参加者同士交流を深め、防災について遊びながら学ぶ活動が行われました。本学の学生たちは、公民館で実施されるイベントに実際に参加するために、事前に地域や対象者について調査・検討を行いました。学生同士や職員の方々と何度も話し合い、公民館で実際に企画を実施・運営することで、社会教育的な意義や多様な社会関係のあり方について学習できたのではないかと思います。イベントの終了後、受講生は活動全体を振り返りながら、スライドを用いてレポートを作成しました。その一部をまとめ、市役所の展示ブースなどで報告できればと考えています。



主 催	岡山市立御津公民館		
タ イ ト ル	「猟師がつくる本気のシシ鍋講座」の参加		
実 施 者	岡山市立御津公民館・就実大学社会教育主事課程（担当：中塚朋子）		
日 付	2020年12月19日	場 所	青空市場五城村（岡山市御津）
対 象 者	地域住民 就実大学の大学生	参加人数	40名程度（本学学生含む）

概 要（本文・写真・図等）

2020年12月19日に、社会教育主事課程の科目（生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ）や社会学ゼミの授業の一環として、岡山市立御津公民館、御津猟友会、地域住民が共催する「猟師がつくる本気のシシ鍋講座」に参加しました。場所は、岡山市北区の御津地域にある「青空市場五城村」です。本講座は、旧住民と新住民の交流から生まれた企画で、旧住民のこれまでの活動や思いをふまえ、移住者など新住民が提案する新しい考え方を融合し、持続可能な学習活動を目指しています。地域の活動について大学生の意見が聞きたいということで、この企画に本学の学生も参加させていただきました。

本企画の実施にむけて、前期のオンライン授業（2020年7月22日）に御津五城に移住してこられたNご夫妻にリモートで参加していただき、地域の活動についてお話をうかがいました。また、後期の対面授業（2020年10月21日）では、御津五城で農業をしながら猟師をされている方々や移住者の方、御津公民館職員の方々の6名に大学まで出前講義に来ていただきました。また、事前学習として「鳥獣害問題」や生活環境に関する文献の講読とディスカッションを行いました。

当日は、感染対策を十分にとりながら講座を実施した後、地域の関連施設の見学を行いました。まず、11時から1時間ほど焚き火を囲んで猟師や地域の方々のお話をうかがい、質問や意見の交換を行いました。人々の生活様式の変化や環境にあたる影響により、山に生息していた動物たちが人里に下りてきて、農作物などを食べるなどの被害に苦労しているという実情についてうかがいました。猟師の方々には、いのちを余すところなくいただくという思いで捕獲したイノシシを解体や調理されているそうです。印象的なエピソードとともに、捕獲する方法や捕獲するさいの猟師の方々の思いをうかがうことができました。その後、12時から猟師の方々が作ってくださったシシ鍋と五城地域自慢のお米で作られた塩むすび（おにぎり）をいただきました。青空の下で、シシ肉と大根がたっぷりはいった温かいシシ鍋を、学生たちは美味しそうに頬張っていました。また、イノシシの脂（あぶら）でつくった、シシクリーム作り方も実演もしていただきました。学生たちは地域の方々に質問や話かけるなどして、積極的な交流を行っていました。

その後、13時から移住者のNご夫妻が運営する「OMOや454」（カフェや宿泊施設など）の見学をさせていただきました。複合施設として地域の新たな交流の拠点となることを目指しているそうです。さいごに、御津公民館の方々のはからいで、御津郷土資料館に少しでも立ち寄ることもできました。本講座の参加や関連の授業を通して、学生たちは新旧の住民たちの地域づくりの取り組みの事例や、人間と動物との共生を考える機会となったのではないかと考えています。



主 催	岡山県生涯学習センター		
タ イ ト ル	科学キッズフェスティバル in 京山祭		
実 施 者	就実大学薬学部 中西 徹 山崎 勤		
日 付	2020年12月13日（日）	場 所	人と科学の未来館サイピア イベントスペース
対 象 者	一般	参加人数	70名

概 要（本文・写真・図等）

岡山県生涯学習センターが主催する「科学キッズフェスティバル in 京山祭」に参加し、出展者として実験ブースを出展した。出展団体は、岡山県内の学校、大学、企業、団体合計18団体（うち1団体が途中辞退）で、各々実験、工作、体験教室などのブースを出展した。申し込みは事前予約制で、午前、午後それぞれ100組の家族が参加出来ることになっていたが、募集開始後すぐに定員に達し締め切られた。開催前日（12月12日土曜）は13時から会場（岡山県生涯学習センター及び人と科学の未来館サイピア）全体の準備手伝い（机運びなど）、15時から出展ブースの準備を行った。開催当日（12月13日日曜）は8時半から準備を行い、10時から「模型を作ってコロナウイルスの正体を知ろう」という、模型組立て、体験型のブースをオープンした。このブースでは、コロナウイルスの簡単な説明を行った後に、NPO法人地域国際ヘルスサイエンスセンターと共同開発したコロナウイルスの組み立てキットを参加者に組み立ててもらい、作りながら、同時にコロナウイルスの構造や感染様式を知ってもらったり、消毒の原理を理解してもらおうという狙いがあった。会場では、机や器具を消毒をしたり、実験機の間隔を空けたり、換気をしたり、コロナ対策を十分に実施しながら体験をしてもらった。1時間ずつの入れ替え制で、一回に最大約10家族が入れる形で午前中10時から12時まで、午後は13時から15時までの計4時間、4回の体験イベントを開催した。参加した家族の合計人数は70名で、毎回平均17-18名の入場者があった。人が並んで密になることがないように受付を設けて整理券を発行し、さらに毎回のイベント終了時は机や器具を全部消毒して、組み立てパーツを全部の机に再度配布するという手間をかけながら実施した。本展示ブースは、コロナの流行下ということもあって関心が高く、参加した家族は、説明を聞いたあと大変興味深くコロナキットを組み立てて、その構造や感染の仕組み、さらにアルコール消毒でウイルスが失活する理由などを学習していた。実施中岡山放送（OHK）が取材に入り、当日17時からのニュースで、子供たちがこのコロナキットを組み立てる様子やキットのパーツ、組み立てられたキットなどが放送された。



コロナウイルス模型作製体験イベントの様子



コロナウイルス模型

主 催	岡山市立御津公民館		
タ イ ト ル	日本語教室（初級）		
実 施 者	国際交流課長 野村照代		
日 付	2019年10月～現在	場 所	岡山市立御津公民館
対 象 者	外国人技能実習生他	参加人数	約6名（N4・N3相当のみ）

概 要（本文・写真・図等）

本学人文科学部と相互連携協定を締結している岡山市立御津公民館において、毎月第2、第4日曜日に日本語教室で日本語教師ボランティア（有資格・補助）を行っている。学習者の方は、近隣の企業の技能実習生、日本人の配偶者等で、日本語力は入門から上級まで、N5レベルからN1レベルまでと幅広い。ベトナム、インドネシア、中国等から来日しており、仕事や生活のために日本語を習得しなければならないため、非常に熱心に予習、復習、宿題をして来られる。

2020年4月、5月は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、休講となり、6月から再開した。しかし、7月の日本語能力検定試験（JLPT）は中止となり、12月も感染第3波が訪れ、全国的に試験は行われたにも拘わらず、受験に公共交通機関を使用するため、所属企業から受験を禁止されるという憂き目にあった。9月以降毎週 JLPTの補講も行い、熱心に勉強を進めていた“受験したら合格間違いなし”の学習者の方々には気の毒であった。

毎月第4日曜日には、授業終了後に交流会「多文化カフェ」が行われ、学習者の方に母国の料理を作ってもらったり、持ち寄ってもらって、試食し、また作り方を聞いたり、楽しみながら学習している（新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となった月もあった）。無資格での日本語ボランティアも多い中、御津公民館の日本語教室は、全員日本語教師有資格者で行われており、他の行事も含めて、この公民館ではレベルの高い活発な運営が行われている。ちなみに御津公民館の主任は本学の卒業生である。

本学の社会教育主事課程の学生もこの間に1回、感染予防対策を徹底した上で屋内外で「多文化カフェ」に参画し、学習者へのインタビューを行った際には、オブザーバーとして参加した。

↓岡山市立御津公民館
（岡山市北区御津字垣1629）



↓インドネシア料理の一部
（甘辛い牛肉と揚げた煎餅）



各種学外委員会の応嘱

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	教授	氏 名	岡本 悦子
内 容	①岡山県女子体育連盟会長 ②岡山県現代舞踊連盟顧問 ③子どもの社会参加を考える会 in 京山（通称チューリップの会）副会長				
期 間	①平成24年4月1日～令和3年1月現在 ②平成14年～理事、平成17年～副会長、平成21年～平成23年会長、 平成24年～令和3年1月現在顧問 ③平成20年～令和3年現在				

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	教授	氏 名	川崎 剛志
内 容	①国文学研究資料館 地域資料専門部会委員 ②日本山岳修験学会 理事 ③仏教文学会 委員 ④国際熊野学会 委員				
期 間	①2018年4月1日～現在 ②2011年10月1日～（評議員）、2013年10月1日～現在（理事） ③2020年4月1日～現在 ④2018年4月1日～現在				

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	准教授	氏 名	浅利 尚民
内 容	①閑谷学校研究委員会委員 ②尾道市史編集委員会文化財専門部会執筆者 ③岡山県文化財保護協会理事				
期 間	①2009年4月1日～現在 ②2018年4月1日～現在 ③2020年9月14日～現在				

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	講師	氏 名	丸井 貴史
内 容	①日本近世文学会 委員 ②国文学研究資料館 地域資料専門部会委員				
期 間	①2020年8月～現在 ②2018年4月～現在				

所 属	人文科学部総合歴史学科	職 位	准教授	氏 名	松崎 博子
内 容	①日本図書館研究会評議員（中国ブロック選出） ②岡山市公の施設の指定管理候補者選定委員会臨時委員 ③真庭市図書館基本計画策定委員会委員				
期 間	①2019年4月1日～2021年3月31日 ②2020年6月17日～2021年3月31日 ③2020年7月1日～2021年3月31日				

所 属	教育学部初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	楠 博文
内 容	①兵庫教育大学岡山会 理事 ②岡山県小学校教育研究会岡山支会算数部会 顧問 ③新興出版社啓林館 教科書協力著者				
期 間	①2013年4月1日～現在 ②2016年4月1日～現在 ③2018年4月1日～2021年9月30日				

所 属	教育学部教育心理学科	職 位	教授	氏 名	石原みちる
内 容	①岡山市学校問題解決サポート事業 専門相談員 ②岡山県教育委員会スクールカウンセラー配置事業 スーパーバイザー ③瀬戸内市子ども包括支援推進協議会委員				
期 間	①令和2年4月1日～令和3年3月31日 ②令和2年4月1日～令和3年3月31日 ③令和2年4月1日～令和3年3月31日				

所 属	教育学部教育心理学科	職 位	講師	氏 名	井芹 聖文
内 容	①岡山県警察犯罪被害者等カウンセリングアドバイザー ②岡山県教育委員会スクールカウンセラー配置事業におけるスーパーバイザー				
期 間	①2020年4月1日～2021年3月31日 ②2020年4月1日～2021年3月31日				

所 属	経営学部経営学科	職 位	教授	氏 名	野本 明成
内 容	①岡山市公の施設指定管理候補者選定委員会委員				
期 間	①令和2年6月17日～令和3年6月16日				

所 属	経営学部経営学科	職 位	教授	氏 名	林 俊克
内 容	①岡山市経済政策審議会委員				
期 間	①令和2年11月15日～令和4年11月14日				

所 属	経営学部経営学科	職 位	准教授	氏 名	加賀美太記
内 容	①くらしと協同の研究所 研究委員・『くらしと協同』編集委員 ②くらしと協同の研究所 理事・運営委員				
期 間	①2014年6月1日～現在 ②2014年6月1日～現在				

所 属	経営学部経営学科	職 位	講師	氏 名	小柳 智裕
内 容	①方谷研究会 理事 ②方谷研究会 企画委員会 副委員長 ③方谷研究会 企画委員会 委員長 ④方谷研究会 調査・研究委員会 委員 ⑤方谷研究会 調査・研究委員会 委員長 ⑥日本インテリア学会 アーカイブ化委員会 委員				
期 間	①2012年6月～現在 ②2015年10月～2020年10月 ③2020年10月～現在 ④2017年10月～2020年10月 ⑤2020年10月～現在 ⑥2018年7月～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	洲崎 悦子
内 容	①津山洋学資料館 協議会委員				
期 間	①平成22年4月1日～令和4年3月31日(予定任期)				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	片岡 洋行
内 容	①薬学教育協議会分析化学系教科検討委員会委員 ②Analytica Chimica Acta: Editorial Advisory Board member (Elsevier) ③Analytical Chemistry Letters: Editorial Board (Vinayak-Graphics) ④Journal of Environmental & Analytical Toxicology: Editorial Board Member (OMICS) ⑤日本分析化学会中国四国支部幹事 ⑥おかやまバイオアクティブ研究会幹事 ⑦Analytical Methods in Chemistry Editorial Board Member (Hindawi) ⑧Editorial Board Member of Chromatography (Japan) ⑨クロマトグラフィー科学会評議員 ⑩Editorial Board Member of Journal of Translational Biomarkers & Diagnosis (SciDoc) ⑪Editorial Board Member of Journal of Bioanalytical Techniques (Sciforschen) ⑫岡山県薬事審議会委員部会長 ⑬Editorial Board Member of Journal of Biochemistry and Analytical Studies (Sciforschen) ⑭Editorial Advisory Board Member of Journal of Chromatography A (Elsevier) ⑮岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会会長 ⑯Editorial Board Member (Academic editor of Analytical section) of Molecules (MDPI) ⑰Associate Editor of Frontiers in Environmental Chemistry (Frontiers) ⑱大学基準協会大学評価分科会委員 ⑲岡山県立大学保健福祉学部外部評価委員				
期 間	①2003年4月1日～現在 ②2009年1月1日～現在 ③2011年1月1日～現在 ④2011年4月1日～現在 ⑤2011年4月1日～現在 ⑥2011年4月1日～現在 ⑦2011年11月1日～現在 ⑧2012年4月1日～現在 ⑨2012年4月1日～現在 ⑩2015年10月1日～現在 ⑪2015年10月1日～現在 ⑫2015年4月1日～現在 ⑬2017年1月1日～現在 ⑭2018年5月1日～現在 ⑮2018年10月1日～現在 ⑯2018年11月1日～現在 ⑰2020年1月1日～現在 ⑱2020年4月1日～現在 ⑲2020年12月24日～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	見尾 光庸
内 容	①大学コンソーシアム岡山運営委員 ②大学コンソーシアム岡山将来構想委員会委員 ③薬学教育協議会薬理学関連教科担当教員会議委員 ④日本私立薬科大学協会薬剤師国家試験問題検討委員会薬理学部会委員				
期 間	①平成30年4月1日～令和3年3月31日 ②平成30年4月1日～平成32年3月31日 ③平成15年度～継続中 ④平成19年度～継続中				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	中西 徹
内 容	①岡山県環境放射線等測定技術委員会委員 ②NPOヘルスサイエンス地域国際センター理事 ③日本軟骨代謝学会評議員 ④日本生化学会評議員 ⑤硬組織再生生物学会理事 ⑥日本食品衛生学会理事 ⑦おかやまバイオアクティブ研究会役員・企画委員 ⑧主体的学び研究所客員フェロー ⑨ASEAN-JAPANゲノム医療研究推進国際会議 代表 ⑩Texcell Japan Co.Ltd. Research Advisor				
期 間	①2010年4月1日～現在 ②2012年4月1日～現在 ③1999年3月1日～現在 ④2005年10月1日～現在 ⑤2004年10月1日～現在 ⑥2013年3月1日～現在 ⑦2013年10月11日～現在 ⑧2012年4月1日～現在 ⑨2017年7月9日～現在 ⑩2019年4月1日～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	教授	氏 名	島田 憲一
内 容	①岡山県薬剤師会薬局委員会委員 ②岡山市介護認定審査会委員 ③内閣府食品安全委員会食品安全モニター ④岡山県病院薬剤師会実習委員会オブザーバー委員 ⑤薬学教育協議会 病院薬局実務実習中国・四国支部 支部委員 ⑥薬学教育協議会 病院薬局実務実習近畿支部 オブザーバー委員 ⑦岡山県薬剤師会実務実習特別委員会オブザーバー委員 ⑧健康食品管理士会中国支部幹事				
期 間	①2008年4月1日～現在 ②2013年4月1日～現在 ③2015年4月1日～現在 ④2016年4月1日～現在 ⑤2017年4月1日～現在 ⑥2017年4月1日～現在 ⑦2019年4月1日～現在 ⑧2019年10月1日～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	准教授	氏 名	加地 弘明
内 容	①岡山県薬剤師会 理事 ②岡山県薬剤師会 地域包括ケア対策委員会 委員 ③岡山県薬剤師会 学術委員会 担当理事 ④岡山県薬剤師会 薬局実習委員会 委員 ⑤岡山県薬剤師会 地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会 委員				
期 間	①2017年6月～現在 ②2015年6月～現在 ③2017年6月～現在 ④2018年4月～現在 ⑤2020年4月～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	講師	氏 名	田坂 祐一
内 容	①岡山県薬剤師会おかやま薬学フォーラム実行委員会 委員 ②岡山県薬剤師会安全管理特別委員会 委員 ③日本医薬品安全性学会 社員 ④岡山県立岡山城東高等学校 学校薬剤師 ⑤岡山市学校薬剤師会 理事 ⑥日本病院薬剤師会学術第6小委員会 委員				
期 間	①平成30年12月20日～現在 ②令和元年7月10日～現在 ③令和2年1月1日～現在 ④令和2年4月1日～現在 ⑤令和2年6月12日～現在 ⑥令和2年7月1日～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	助教	氏 名	石崎 厚
内 容	①岡山市薬剤師会 薬物乱用防止委員				
期 間	①2017年11月1日～現在				

所 属	薬学部薬学科	職 位	助教	氏 名	吉井 圭佑
内 容	①岡山県災害薬事コーディネーター				
期 間	①2020年4月1日～				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	小谷 彰吾
内 容	①日本特別活動学会 第29回岡山大会 実行委員長				
期 間	①2019年8月～現在				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	土田 耕司
内 容	①瀬戸内市次世代育成支援対策推進協議会委員				
期 間	①2020年4月1日～2022年3月31日				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	柴川 敏之
内 容	①岡山県新進美術家育成「I氏賞」推薦委員 ②広島県立美術館評価委員会 委員				
期 間	①2020年4月1日～2021年3月31日 ②2020年4月1日～2021年3月31日				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	准教授	氏 名	荊木まき子
内 容	①日本教育心理学会 常任編集委員 ②日本コミュニティ心理学会 常任理事 ③令和2年度全国保育者養成セミナー 実行委員				
期 間	①2020年1月～現在 ②2020年4月～現在 ③2020年9月18・19日				

所 属	短期大学生生活実践科学科	職 位	教授	氏 名	大友 達也
内 容	①一般社団法人日本レセプト学会 理事長 ②一般社団法人日本レセプト学会 会長 ③財団法人能力開発推進協会 理事 ④岡山県医師会医療秘書運営委員会 運営委員				
期 間	①2017年10月1日～現在 ②2017年10月1日～2020年9月30日 ③2015年4月1日～現在 ④2019年4月1日～現在				

所 属	薬学部附属薬局	職 位	管理薬剤師	氏 名	松本かおり
内 容	①岡山市立馬屋上小学校 学校薬剤師 ②岡山市立桃丘小学校 学校薬剤師				
期 間	①2020年4月1日～現在 ②2020年4月1日～現在				

所 属	薬学部附属薬局	職 位	薬剤師	氏 名	西山 典子
内 容	①岡山県薬剤師会 薬局実習委員会委員				
期 間	①2019年7月10日～現在				

所 属	産学官地域連携センタ	職 位	企画監	氏 名	永山 知明
内 容	①岡山県産学官連携推進会議				
期 間	①令和2年4月1日～令和3年3月31日				

講師の派遣

所 属	人文科学部表現文化学科	職 位	准教授	氏 名	浅利 尚民
実 施 日	①2020年10月17日 ②2020年10月28日 ③2020年12月15日				
事業主催者 (依頼元)	①浅口市教育委員会 ②姫路千姫顕彰会 ③山陽新聞社				
タ イ ト ル	①浅口市文化財講座第2回「石谷家文書の発見とひろがり」 ②第6回千姫フォーラム「千姫と池田家ー勝姫と光政の活動を中心にー」 ③山陽新聞カルチャープラザ特別歴史講座「再考ー本能寺の変」 「将軍側近のみた戦国乱世ー石合家文書をよみとくー」				

所 属	人文科学部総合歴史学科	職 位	准教授	氏 名	中塚 朋子
実 施 日	①2021年1月30日				
事業主催者 (依頼元)	①岡山市教育委員会事務局生涯学習課 公民館推進室 (場所：岡山市立操山公民館)				
タ イ ト ル	①令和2年度岡山市立公民館大会：若者と地域をつなぐ公民館				

所 属	教育学部初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	楠 博文
実 施 日	①2020年6月19日 ②2020年7月16日 ③2020年7月17日 ④2020年7月30日 ⑤2020年8月25日 ⑥2020年9月11日 ⑦2020年9月17日 ⑧2020年10月9日 ⑨2020年10月16日 ⑩2020年11月6日 ⑪2020年11月13日 ⑫2021年3月15日				
事業主催者 (依頼元)	①高梁市立玉川小学校・高梁市教育委員会 ②赤磐市立城南小学校・吉井教育研究会学ぶ力づくり部会 ③倉敷市立中洲小学校・倉敷市教育委員会 ④高梁市立玉川小学校 ⑤高梁市立玉川小学校 ⑥高梁市立玉川小学校 ⑦新見市立新見南小学校・新見市教育委員会 ⑧高梁市立玉川小学校 ⑨高梁市立玉川小学校・高梁市教育委員会 ⑩岡山県小学校教育研究会算数部会・赤磐市立城南小学校 ⑪新見市立新見南小学校 ⑫高梁市立中井小学校				
タ イ ト ル	①校内研究の指導助言 ②研究授業の指導助言 ③研究授業の指導助言 ④学習指導案検討会の指導助言 ⑤学習指導案検討会の指導助言 ⑥研究授業の指導助言 ⑦研究授業の指導助言 ⑧研究授業の指導助言 ⑨講演「小さな学校の大きな挑戦!! 統合的・発展的に考察する授業の追究」 ⑩研究授業の指導助言 ⑪研究授業の指導助言 ⑫講義「これからの算数教育で目指すべき大切なこと」				

所 属	教育学部初等教育学科	職 位	講師	氏 名	田中 修敬
実 施 日	①2020年10月16日 ②2020年12月15日				
事業主催者 (依頼元)	①岡山市立西大寺公民館 ②赤磐市幼稚園教育研究会				
タ イ ト ル	①幼稚園に男の先生がやってきた！ ②幼児理解に基づく保育の展開				

所 属	教育学部教育心理学科	職 位	教授	氏 名	石原みちる
実 施 日	①2020年6月30日 ②2021年1月30日				
事業主催者 (依頼元)	①岡山県教育庁 ②日本学校教育相談学会岡山県支部				
タ イ ト ル	①電話相談リピーターへの支援 ②コーディネーターが知りたいSCコンサルテーション活用術				

所 属	経営学部経営学科	職 位	教授	氏 名	日高 靖和
実 施 日	①2021年2月18日				
事業主催者 (依頼元)	①岡山県庁 産業労働部				
タ イ ト ル	①いまさら人に聞けない「イノベーション」講座				

所 属	経営学部経営学科	職 位	教授	氏 名	林 俊克
実 施 日	①2020年4月14日				
事業主催者 (依頼元)	①岡山県立岡山操山高等学校				
タ イ ト ル	①1年研修基調講演「グローバル社会で生きるということ」				

所 属	経営学部経営学科	職 位	准教授	氏 名	加賀美太記
実 施 日	①2020年12月3日				
事業主催者 (依頼元)	①地域と協同の研究センター				
タ イ ト ル	①非営利組織のマーケティング				

所 属	教育学部教育心理学科	職 位	教授	氏 名	森 宏樹
実 施 日	①2020年12月1日				
事業主催者 (依頼元)	①高梁市立有漢西小学校				
タ イ ト ル	①薬物乱用防止教室				

所 属	薬学部薬学科	職 位	准教授	氏 名	加地 弘明
実 施 日	①2020年4月3日 ②2020年11月8日 ③2021年2月10日 ④2021年3月3日				
事業主催者 (依頼元)	①高島おひさまこども園 職員研修会 ②岡山県薬剤師会 薬学講習会 ③曾根小学校 薬物乱用防止教室 ④介護労働安定センター岡山支部 定期講習会				
タ イ ト ル	①エピペン使用講習会 ②患者のための服薬情報提供書の作り方ワークショップ ③みんなで知ろう危険ドラッグのこと ④現場で役立つ！介護職のための薬の基礎知識				

所 属	薬学部薬学科	職 位	講師	氏 名	田坂 祐一
実 施 日	①2020年5月29日 ②2020年8月20日 ③2020年8月22日 ④2020年9月13日				
事業主催者 (依頼元)	①武蔵野大学 薬学部 ②岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」 ③富永調剤薬局 ④岡山県薬剤師会				
タ イ ト ル	①薬剤師の業務と臨床生化学 ②薬剤師さんになってみよう！ ③プレアボイドの考え方と実践のポイント ④プレアボイドの考え方とPharma-PROsの使い方				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	澤津まり子
実 施 日	①2020年9月4日				
事業主催者 (依頼元)	①瀬戸内市				
タ イ ト ル	①子どもの心に寄り添う保育				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	小谷 彰吾
実 施 日	①2020年8月7日 ②2020年9月10日 ③2020年9月14日 ④2020年9月18日 ⑤2020年10月22日 ⑥2020年12月17日 ⑦2020年12月18日 ⑧2020年12月19日 ⑨2021年1月23日				
事業主催者 (依頼元)	①笠岡市保育者養成研修会講演講師 ②倉敷市立葦高小学校PTA教育講演会講師 ③津山青年会議所人材育成研修会講演会講師 ④井原市立青野小学校PTA教育講演会講師 ⑤鏡野町立奥津小学校PTA教育講演会講師 ⑥岡山県立岡山工業高等学校 教職員道徳研修会講師 ⑦東広島市教育委員会管理職研修会講師 ⑧新見市神郷町人権教育研修会講師 ⑨倉敷市立呉妹小学校教育講演会講師				
タ イ ト ル	①笠岡市保育者養成研修 ②「すべてにありがとうの心をこめて」 ～「めざす」という縦の力、「つながる」という横の力を育てる～ ③令和に生きる青年経済人に必要な資質 ～渋沢栄一に学ぶ 士魂商才～ ④「すべてにありがとうの心をこめて」 ～「めざす」という縦の力、「つながる」という横の力を育てる～ ⑤「すべてにありがとうの心をこめて」 ～「めざす」という縦の力、「つながる」という横の力を育てる～ ⑥教師になるということは「道徳を教える人になる」ということ ～教育の目的は「人格の完成」にあり～ ⑦「『めざす』という縦の力、『つながる』という横の力をつける」 ⑧「人とつながる、自然とつながる、社会とつながる」 ⑨「すべてにありがとうの心をこめて」 ～「めざす」という縦の力、「つながる」という横の力を育てる～				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	池田 明子
実 施 日	①2020年6月12日 ②2020年6月18日・11月6日 ③2020年6月19日 ④2020年6月26日・7月10日・8月27日・10月30日 ⑤2020年9月4日 ⑥2020年9月15日 ⑦2020年10月18日				
事業主催者 (依頼元)	①広島市立八木幼稚園 ②広島大学附属三原幼稚園 ③東広島市立八本松中央幼稚園 ④三原市立本郷幼稚園 ⑤広島市立川内幼稚園 ⑥広島県教育委員会乳幼児教育支援センター ⑦岡山市岡山っ子育成局保育・幼児教育部				
タ イ ト ル	①「幼児が主体的に遊びを展開するための教師の見取りや環境構成のあり方を考える」 ②保育部会研究構想にかかわる指導・助言 ③「感じたことや考えたことを表現する子供の育成～遊びの充実を通して～」 ④「思いを伝え合いながら、友達と楽しく遊ぶ子どもをめざして」園内研修指導・助言 ⑤「主体的に環境に関わり、共に育ち合う子供を支えるための援助の在り方」 ⑥幼稚園中堅教諭等資質向上研修園外研修「指導計画の作成と保育記録の活用」 ⑦岡山市教員免許状更新講習「子どもの発達と学び」				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	教授	氏 名	柴川 敏之
実 施 日	①2020年8月18日(火) ②2020年9月26日(土) (オンライン開催) ③2020年10月17日(土) ④2020年11月9日(月)				
事業主催者 (依頼元)	①御南認定こども園 ②医療福祉考動塾PLUSONE、四方よし経営の学び舎 ③岡山県、(公社)岡山県文化連盟、おかやま県民文化祭実行委員会 ④御南認定こども園、御南まんまるこども園				
タ イ ト ル	①アート入門：ようこそ！2000年後の世界へ *御南認定こども園 園内研修 ②2000年後の未来から見た現代社会、そして図書館 *四方よし九州豪雨復興プロジェクト対談企画～第二弾 森の図書館づくり編～ ③未来を占おう！2000年後のおみくじ☆プロジェクト@岡山神社 *第18回おかやま県民文化祭 これがOKAYAMA! プログラム 特別ワークショップ ④2000年後の御南こども園を発掘しよう！				

所 属	短期大学幼児教育学科	職 位	管理薬剤師	氏 名	松本かおり
実 施 日	①2020年12月8日 ②2021年1月16日 ③2021年2月10日				
事業主催者 (依頼元)	①岡山市立馬屋上小学校 ②岡山市立桃丘小学校 ③岡山市立馬屋上小学校				
タ イ ト ル	①ハンドケア講習会 ②薬物乱用防止教室 ③薬物乱用防止教室				

地域と歩んだ就実の軌跡
地域貢献報告書 第13号

2021年4月10日

発	行	就実大学・就実短期大学 地域貢献委員会 〒703-8516 岡山県岡山市中区西川原1-6-1 Tel (086) 271-8111(代)
発行責任者		地域貢献委員長 柴田 隆司
印	刷	株式会社三門印刷所